



いぎ まもる 議員
井木 守

加齢性難聴者の補聴器購入補助制度の検討をもとめる

議員 加齢に伴い何らかの「聞こえ」の問題を抱える人は75歳以上では二人に一人だという。高齢者福祉の課題に位置付け、政策化するべきではないか。

健康福祉部長 次期計画策定については広く御意見を伺う。課題として重要視すべきと認識しておく。

議員 人口規模が近い静岡県長泉町では、年間予算36万円で補助額上限3万円の補聴器購入補助制度をつくっている。笠岡市も独自に検討すべきではないか。

健康福祉部長 福祉サービスが多様化している中で、行政サービスを提供するのが使命と認識している。限られた財源の中で、状況をみながら検討していく。

学校跡地は、地域の活性化のために活用を



議員 廃校になった学校跡地は、地域活性化のために活用すべきと考えるが笠岡市の考えはどうか。

市長 学校施設等においても公共施設総合管理計画に基づき施設総量の縮減に取組み、将来負担を減らす対策を講じる必要がある。廃校施設については地域の御意見や御要望を最大限尊重しながら、地域と行政が一体となって利活用を検討していきたい。

議員 大島東小学校の跡地の検討状況はどうか。

市長 地域の方々が活用方法を検討され、市に提案をいただいている。関係課で関連法令に照らし合わせて、今後の検討をして相談をしていくという状況だ。



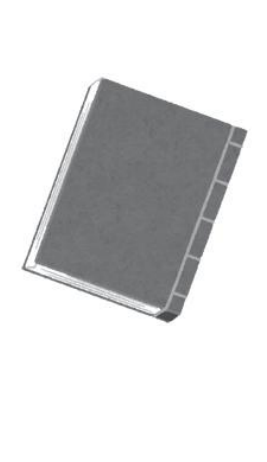
おくのやすひさ 議員
奥野泰久

日本遺産をてこにした有人七島の観光振興策を問う

議員 真鍋島出身で都庁にお勤めの濱本族仁氏の著書「真鍋島における伝承の摘録」は観光振興策に参考になると考えるがどうか。

市長 真鍋水軍の本拠地であり海上交通の要衝として栄えた真鍋島の集落は海の道を担った備讃諸島を代表する歴史的な集落で、集落景観を代表する真鍋家住宅は、この度の認定を受けた構成文化財の一つである。木造校舎などロケ地や真鍋水軍城跡など財産として観光振興を図りたい。

議員 大飛島の洲は瀬戸内海の中央部に位置し干満の自然環境によって堆積し、遣唐使は大阪湾から風に乗る飛鳥で潮待ちをして安全祈願をして関門海峡を経て唐へ渡ったと伝えられる。そこで遺跡公



園等の保存方法は考えられないか。

教育部長 遺跡のイメージを損なわないようなことで、こういったことができるのか今後検討したい。

吉田山手地区のため池管理について問う

議員 県では5月27日に専門技術者による岡山ため池保全管理サポートセンターが誕生した。山手地区では土石流の危険渓流の指定を受けた谷があり、この頂上に才古下池と才古上池があることから同センターを活用できないか。

市長 才古下池は平成30年11月13日基準の見直しにより防災重点ため池に選定した。県の岡山ため池保全管理センターも活用したい。

議員 この地区は小学校、保育所、住宅、人家等への被害が想定されることから慎重に対応を願う。